

---

# キミのオモミを...

封禁

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

キミのオモミを…

### 【Nコード】

N3415D

### 【作者名】

封禁

### 【あらすじ】

日常があればすれ違いや愛し合うのはよくあることで、本当に大事なモノを間違えず見失わずしっかりと両手に抱いて生きていきたい

## プロローグ（前書き）

前作から間が開きましたが、2作目です。更新速度は遅いかもしれませんが、よろしくお願ひします

## プロローグ

これは始まりを示すモノ…

~~~~~

SIDE：

「二人とも遊べないなんてなあ。せつかくの天気なのに…」  
そうぼやきつつ、公園へと歩いて行く。

「公園で、誰に誰か居ないかな？……あれ？」  
いつも、三人で遊んでいる公園。いつも使ってる砂場や滑り台、ブランコなど。

「ただ、ブランコに今まで一度も見たことのない人がいる。  
「なにし……」

「何してるの？」と声をかけたかった。でも、その言葉は声にならなかった。  
頑張れば声が出たかもしれない。でも、出せない。いや、出せなかった。

何故ならその女の子は

声をかけたら消えそうなほどあまりにも儚くて…  
触れた瞬間に壊れそうなほどに脆くて…

自分の出来る事がそれだけであるかのように…  
それが唯一の手段であるかのように…  
ただただ、涙を流していた。

何分くらい見つめていただろうか。

いきなり彼女はこっちを見た。

「えっと、あの、その…」

僕の言葉はどんどん小さくなっていく。

彼女はさっきまで泣いてたのを隠すためか、慌てて後を向いて顔の辺りを拭う。そして、僕の方を向いて、こっ言っただ。

「遊ぼう」

って…

正しいのは、見なかった事にして一緒に遊ぶべきだったのかもしれない。でも、さっきの彼女を思い出すと、とてもそんな事は出来なくて…

「どうしたの？大丈夫？」

と尋ねてしまったんだ。

そうしたら彼女は、いきなり泣き出した。

僕には弟とかいなかったから、どうやったら良いか分からなかった。だから、泣きやみそうになるのを待って、こっするしかなかったんだ。

「…ふえ…ひっ…」

「大丈夫？落ち着いて来た？」

「…ひつ…うん…大丈夫…」

「そっか、じゃあ、はい。これあげるよ。」

僕が手渡したのは、僕一番のお気に入りのお飴玉。

「でも…」

「大丈夫。絶対美味しいから。」

「…うん…」

そういつて彼女はその飴玉をなめ始める。

「…おいしい。」

「でしょ？それ、僕一番のお気に入りなんだ。」

そういつて僕は、誇らしげに笑う。

そしたら彼女も笑ってくれた。

その笑い方は、ほんとに可愛くて、僕も、もつと笑顔になったんだ。

「そうだ！さつき遊ぼうつていつてたよね？じゃあ、遊ぼうよ。一緒に。」

「うん…」

さつき彼女が言っていたはずの言葉なのに、彼女の顔は暗くなる。

「どうしたの？時間とか？」

「ううん。もつと大事なこと。お母さんを探す。」

そういつた彼女の目には、さつき泣いていた時なんかの弱々しさはなく…あるのは、凜とした意志だった。

そして、僕はわかった。遊ぼうつていつたのは、自分の殻に籠つて待とうとしてただけで、探すというのが、それが本当の思いだと。

そして、そんな彼女に僕はつて行こうつて思つた。だから、

「僕も一緒に探すよ。この町は僕の生まれた町だから。」

「ほんとう？ありがとう。」

そうして僕は歩き出した…  
彼女の母親を探すために…

それが、僕達の始めての冒険だった…

## プロローグ（後書き）

読んでくださってありがとうございます。出来るだけ更新速度あげたいので、応援やコメントしてくださいと嬉しいです。ではまた次回で会いましょう



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3415d/>

---

キミのオモミを...

2011年1月28日06時49分発行